

心理学

教員名

教養・医学教育大講座 心理学 准教授 石井 拓
保健看護学部 教授 増田 匡裕
非常勤講師 恒松 伸

心理学Ⅰ	P-01-12-L
心理学Ⅱ	P-01-13-L
心理学実習	P-01-22-T

I 授業の目的

人間を理解し、全人的な視点を身につける上で、行動の理解は不可欠なことの1つである。心理学Ⅰの講義では、応用的な技法の背後にあり、心理学全体を統一的に理解する枠組みとなる行動の基本的な法則について学ぶ。心理学Ⅱの講義では、“心”と呼ばれているものが行動の法則の上にもどのように成り立っているかを学ぶとともに、知能やパーソナリティなどの心的構成概念の測定、行動科学の応用としての認知行動療法や行動経済学、人生のプロセス、コミュニケーションについての知識を身につける。また、心理学実習では、心理学・行動科学の基本的な研究方法論を体得するとともに、適切な研究遂行の遂行を学び、心理検査の体験を通じて自己理解・他者理解を深める。

II 到達目標

心理学Ⅰ

1. 心理学での行動の定義を言えるとともに、それに照らして行動とそうでないものとのを区別できる。
2. 心的概念はなぜ行動の説明には使えないのかを説明できる。
3. 行動の研究法について概説できる。
4. 行動の分類について概説できる。
5. 生得性行動を例示できる。
6. 馴化と鋭敏化について説明できる。
7. レスポンデント条件づけの基本的な現象について説明できる。
8. レスポンデント条件づけを応用した行動変容技法を説明できる。
9. オペラント条件づけの基本的な現象について説明できる。
10. オペラント条件づけを応用した行動変容技法を説明できる。
11. 概念形成について行動分析学に基づいて説明できる。
12. 複雑な行動の獲得と維持に関係する行動の法則を説明できる。

心理学Ⅱ

1. 行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。
2. 健康行動を促進するために行動経済学がどのように応用されているかを説明できる。
3. 行動分析学に基づいて言語行動について説明できる。
4. 言語的および非言語的コミュニケーションを説明し、文化による違いを例示できる。
5. 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。
6. 他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見を例示できる。
7. 心理検査の作成方法を理解し、心理検査の有用性を評価するための概念を説明できる。
8. 知能やパーソナリティの理論と測定法について概説できる。
9. 知能の発達と経年変化を概説できる。
10. 行動の発達の原理、および遺伝と環境の影響について概説できる。
11. 心理学的にみたライフサイクルの捉え方について概説できる。
12. 人生の各時期（胎児期から老年期、終末期まで）の発達について概説できる。
13. 面接法、行動療法、認知行動療法について説明できる。

心理学実習

1. 心理学の実験・検査を実際に行ない、行動科学的な研究方法を習得する。
2. 実験・検査結果に基づいて推測し、議論を展開する思考法を習得する。
3. 実験・検査結果をレポートにまとめ、科学論文の書き方の基礎を習得する。
4. 実験・検査を通じて、自己理解・他者理解を深め、対人理解やコミュニケーションの実践的方法を習得する。

講 義 日 程 表(心理学 I)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R6.4.19	金	3	心とは何か	心理学教室	石井
2	R6.4.26	金	3	行動の計測法	心理学教室	石井
3	R6.5.10	金	3	行動の実験的研究法	心理学教室	石井
4	R6.5.17	金	3	行動の分類	心理学教室	石井
5	R6.5.24	金	3	生得的行動	心理学教室	石井
6	R6.5.31	金	3	馴化と鋭敏化	心理学教室	石井
7	R6.6.7	金	3	レスポナント条件づけの基礎	心理学教室	石井
8	R6.6.14	金	3	レスポナント条件づけと行動療法	心理学教室	石井
9	R6.6.21	金	3	複雑なレスポナント条件づけ	心理学教室	石井
10	R6.6.28	金	3	オペラント条件づけの基礎	心理学教室	石井
11	R6.7.5	金	3	強化随伴性	心理学教室	石井
12	R6.7.12	金	3	刺激性制御の基礎	心理学教室	石井
13	R6.7.19	金	3	刺激性制御と概念形成	心理学教室	石井
14	R6.7.26	金	3	筆記試験	心理学教室	石井

講 義 日 程 表(心理学Ⅱ)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担当教室	担当
1	R6.9.2	月	2	心理学の一般的な諸領域とさまざまな立場	心理学教室	石井
2	R6.9.9	月	2	心と脳	心理学教室	石井
3	R6.9.30	月	2	感覚・知覚と心理物理学	心理学教室	石井
4	R6.10.21	月	2	“動機づけ”と呼ばれているもの	心理学教室	石井
5	R6.10.28	月	2	“ストレス”と健康	心理学教室	石井
6	R6.10.31	木	2	知能の測定と経年変化	心理学教室	石井
7	R6.10.31	木	3	遺伝と環境	心理学教室	石井
8	R6.11.11	月	2	パーソナリティの理論と測定法	心理学教室	石井
9	R6.11.18	月	2	言語・非言語的コミュニケーションとそのスキル	心理学教室	石井
10	R6.11.25	月	2	対人認知	心理学教室	石井
11	R6.12.2	月	2	対人行動	心理学教室	石井
12	R6.12.9	月	2	集団の影響	心理学教室	石井
13	R6.12.16	月	2	心の健康と心理療法	心理学教室	石井
14	R6.12.23	月	2	筆記試験	心理学教室	石井

講 義 日 程 表(心理学実習)

No.	月日	曜日	時限	項 目	担 当 科	担当
1	R6.9.6	金	3,4,5	ガイダンス	心理学教室	石井・増田・恒松
2	R6.9.13	金	3,4,5	グループに分かれ、以下の各テーマについてローテーションを組んで実習に取り組む ・ミューラー・リヤーの錯視 ・短期記憶 ・会話分析1 ・鏡像描写 ・質問紙法 ・会話分析2	心理学教室	石井・増田・恒松
3	R6.9.20	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
4	R6.9.27	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
5	R6.10.4	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
6	R6.10.11	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
7	R6.10.25	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
8	R6.11.1	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
9	R6.11.8	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
10	R6.11.15	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
11	R6.11.22	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
12	R6.11.29	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
13	R6.12.6	金	3,4,5		心理学教室	石井・増田・恒松
14	R6.12.13	金	3,4,5		予備日	心理学教室